

地球科学輻合ゼミナール (2014年度 後期 第2回)のご案内

2013 年オホーツク海深発地震とその遠地地震動

久家 慶子

京都大学 大学院 理学研究科 地球物理学分野

2013 年 5 月 24 日カムチャッカ半島西のオホーツク海下深さ約 610 km で、記録上最大のマグニチュード 8.3 の深発地震が発生しました。この地震は、モスクワやドバイなど世界各地で有感となり、新聞でも話題になりました。また、この地震は、1994 年ボリビア深発地震以降主張されていた深発地震の物理モデルに、一石を投じるものとなりました。本セミナーでは、この地震の特徴の review とともに、広く世界で記録された遠地地震動の特徴に関する解析結果をお話しします。

10月15日(水) 午後4:30～午後6:00
場所: 理学研究科6号館303号室